

研修会報告

令和元年 10 月 3 日

文責：生理検査部門 西尾 太一

研修会テーマ「即実践！ライブと症例で学ぶ呼吸機能検査」

開催日時 令和元年 9 月 28 日（土）14：00 ～16：30

会場 仙台市立病院 3 階講堂

・講演 1「ライブで学ぶ！呼吸機能検査のコツ」

講師：東北大学病院 生理検査センター 情野 千文 技師

・講演 2「症例で学ぶ！結果解釈と臨床へのアプローチ」

講師：仙台市立病院 呼吸器内科部長 八重柏 政宏 医師

日臨技生涯教育点数：専門 20 点

参加者：会員 78 名 非会員 2 名 計 80 名

内容

今回は呼吸機能検査について、ライブレクチャーによる検査手技の確認とその検査結果をいかに解釈し臨床へと繋げるかを症例から学ぶという研修会を企画した。

講演 1 では、呼吸機能検査・スパイロメトリーについてライブレクチャーを交えてご講演いただいた。いかに患者の最大限の能力を引出すか、声掛けの方法から適切な検査結果を得るための説明方法までライブを交えて学ぶことができた。実際の検査結果を提示しながら、適切な結果を得られなかった要因等の理解を深めることができた。日常検査に直結する知識・技術を学ぶことができ、有意義な内容であったと考える。また検査機器精度管理についてもご教示いただき、昨今の検査精度保証への一助となったと思われる。

講演 2 では、臨床側から診断・治療の実情を実際の症例・検査結果を交えながらご講演いただいた。特に臨床上呼吸機能検査を行うことの多い気管支喘息の症例を中心に、我々の提示した検査結果がどのように解釈され、診断・治療にまで繋がっていくのかを学ぶことができた良い機会となった。また気道・呼吸抵抗測定や気道炎症測定（呼気中 NO 測定）などスパイロメトリー以外の呼吸機能検査についても詳しく解説していただいた。検査をして結果を出して終了となりがちな我々の業務だが、臨床と直結しているということを改めて認識させられる良い機会となり、多くの参加者にとって有意義な内容であったと考える。

今研修会は貴重なライブレクチャーの研修会ということもあり、多くの会員に参加していただいた。今後も宮城県臨床検査技師会会員にとって日常検査・臨床と直結した有意義な研修会を企画・開催していきたい。